

## 牧師任命式

主教は祭壇のかたわらに進み、牧師候補者および他の聖職と教会委員会二名（一名は聖堂のかぎを持つ）とは聖所の入口に向かって立つ。主教は臨席しえない時は、司祭に代理させてもよい。  
主教は立って次のように言う。

愛する兄弟よ、我らここに集まりたるは、司祭——師をこの教会の牧師に任ぜんがためなり。我いまこれに任命書を授けんとす。されどこの任命について故障ありと知る者あらばいま申し立つべし

故障を申し立てる者があれば主教はこの式を中止するか否かを判定する。  
中止する理由がなければ任命書を朗読する。  
任命書授与の後、教会委員会は信任牧師にかぎを渡して言う。

当教会は司祭——師を牧師として受け、その証しとして当教会の信徒にかわり、この堂のかぎを呈す

新任牧師はかぎを受けて次のように言う。

我この聖堂のかぎをなんじらより受けたり。我いま父と子と聖霊の御名によりて忠実なる牧者たらんことを約す

主教 なんじらとともにいますことを  
会衆 主なんじの霊とともにいますことを  
主教 我ら祈るべし

主よ、変わらざる恵みにて我らにさきだら、絶えざる助けにて我らをとめない、何事になすにも始めより終わりまで主にたより、御名の栄光をあらわし、ついに限りなき命に至ることを得させたまえ。主イエス・キリストによりてこいねい奉る。アーメン

次に一同、主の祈りを唱える。

天にまします我らの父よ、願わくは御名を聖となさしめたまえ。御国をきたらしめたまえ。御心を天におけるごとく、地にも行なわしめたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我ら赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試みに合わせず、悪より救いだしたまえ。アーメン

主教は新任牧師を聖所の内に入らせ、聖書・祈祷書、および法憲法法規を渡して言う。

なんじこれを受けて神の言葉を伝え、礼拝、をつかさどり、教会を牧するよりどころとせよ。また何事にも、なんじにゆだねられたる群れの模範となることを努むべし

次の左の詩篇の一つを歌いまたは唱える。

### 詩六十八篇

父と子と聖霊に栄光あれ  
始めにあり、今あり世々限りなくあるなり アーメン

### 詩二十六篇

父と子と聖霊に栄光あれ  
始めにあり、今あり世々限りなくあるなり アーメン

主教 律法はモーセによりて与えられ  
会衆 恵みと真理とはイエス・キリストによりてきたれり  
一同 主は万物の上において世々誉れを受くべき神なり  
主教 我ら祈るべし

すべてのよき賜物をあたえたもう全能の神よ、主は聖公会のうちに聖職を立て、その位を分ちたまえり。今この会衆をゆだねられたるしもべに恵みを与えたまわんことを、せつに祈り奉る。願わくは主の道の真理をもって彼をみだし、清き行ないをもって彼を装い、忠実に主に仕えしめ、御名の栄光をあらわし、聖公会の徳を建つことを得させたまえ。ひとりのよりなしイエス・キリストによりてこいねがい奉る。アーメン

主イエスよ、主は公会をあがない、我らは世の終わりまで常になんじらとともにあるなりと使徒たちに約したまえり。願わくはこの宮にて祈祷と賛美をささげんとてつかわされたるしもべの務めを祝したまえ。我らの岩・我らのあがないない主よ、このしもべの口の言葉・心の思いを常に御心になわしめたまえ。アーメン

すべての信徒を清めたもう聖霊なる神よ、この会衆に恵みをくだし、限りなき福音の光をもって彼らを照らし、真理を愛する愛をその心につぎ、ますます熱心に主に仕えしめ、もろもろの善をもって養い、また大なる恵みをもって絶えずこの幸いにおらしめたまえ。父と子と一体の神にましますほむべき聖霊を世々あがめ奉らん。アーメン

### 祝福

願わくは、とこしえの契約の血によりて、羊の大牧者となれる我らの主イエスを死人の

うちよりよみがえらせたまいし平和の神、その喜びたもうところをイエスキリストよりてなんじらのうちに行かない、御心を行なわしめんために、すべての良きことにつきてなんじらを全うしたまわんことを。願わくは世々限りなく栄光、主にあらんことを。  
アーメン

次に新任牧師は祭壇の前にひざまずき、自己のために祈る。

わが主・わが神よ、しもべは主をわが屋根のしたに入れまつるに足らぬ者なり。されど主はしもべを召して祭壇に仕えることを許したもう。我いま身をも魂をも主にささげ、力のかぎり主に仕え奉るべし。願わくはつねに御言葉を記憶し、聖霊の光に照らされ、教えと行ないとによりて、主の生けるまことの言葉を示し、正しく聖奠を行ない、今ゆだねられたる民を救いの道に進ましむることを得させたまえ。主よ、つねに我とともにいましてわが務めを助けたまわんことを父と聖霊とともに世々限りなく統べ治めたもう主にこいねがい奉る。アーメン

新任牧師は立つて言う。

牧師 主なんじらとともにいますことを  
会衆 主なんじの霊とともにいますことを  
牧師 我ら祈るべし

全能の神よ、主は使徒と予言者の基のうえに公会をたて、イエスキリストをすみの親石となしたまえり。願わくは聖霊の感化によりて信徒あらみな心を一つにし、相和らぎ、御心にかのう清き宮となることを得させたまえ。ことにこの会衆の上に主の恵みを豊かにくだし、彼らをして一心に聖公会の進歩を図り、声を合わせて聖徒に伝えられし信仰の道を言い表わすことを得させ、異端分派を生ずることなく、高ぶる者の足に踏まれ、悪しき者の手に倒さるることなからしめたまえ。また願わくはこの世を安らかに治め、主の公会に平安をあたえ、常に喜びて主につかえ、真実と平和の道をあゆみ、ついにかぎりなき栄光にある聖徒の数に入れらるることを得させたまえ。主イエスキリストによりてこいねがい奉る。アーメン

次に新任牧師は説教をする。説教が終わって聖餐式を司式する。